



学校教育目標

勤勉で、正直に生き、感謝の心を持った、心豊かで健康な児童を育成する。

やさしく

かしこく

たくましく

◎思いやり月間（人権集中学習）

12月10日は、人権デーです。国連にて世界人権宣言が採択されたことを記念して決められました。日本でも12月4日から10日を「人権週間」と定め、全国的に人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動を行っています。

強戸小では、それに先駆けて、11月12日～12月6日までの期間を思いやり月間として、人権学習を集中的に取り組んでいます。11月12日（火）の朝行事では、校長から人権に関する話をしました。そして、代表委員会が思いやり月間の呼びかけをしました。それから各学年・各クラスで人権に関するビデオを観賞したり、図書室の本や道徳の教材などを活用したりして学習を進めました。自分たちの感想を出し合い、考えを交流して深め合いました。振り返りとして、感想文にまとめました。

最後に4～6年生は、人権標語を作成したり、各学年で「強戸小 思いやりの木」を作成したりしていきます。思いやりの木は、各学年のテーマごとにうれしかった言葉やうれしかったこと、友達のよいところ、心が温かくなった瞬間などを一人一人、葉の色画用紙に書いて貼り、思いやりの木として作成していくものです。職員室前の廊下に毎年掲示しています。

この機会に、ご家庭でも人権について話題にして、思いやりの心の成長機会にいただければと思います。



人権講話より

人権講話では、「いじめの矢」という話をしました。

人の心は、もとはきれいで素敵なのです。でも使い方や考え方によっては、恐ろしい「いじめの武器」にもなるものです。いじめには、悪口、暴力、仲間はずれなどがあります。良くない心で作られた「いじめの矢」を受けた人の心は、弱って傷んで、学校へ来られなくなってしまったり、家から出られなくなってしまったりしてしまうこともあります。そういう矢の刺さっている友だちがいたら、気持ちが弱っていて、本人だけでは矢を抜くことができないでしょう。声をかけたり、励ましたりして一緒に「いじめの矢」を抜いてほしいです。そして、いじめをした人には、反省して謝ってほしいです。それでも矢

が抜けた跡は残ってしまいます。消えないのです。だから、いじめは絶対にしてはいけないのです。なくさなければいけないのです。いじめをした本人は、「ふざけた。いじめだとは思っていなかった。」などということがあります、相手の気持ちを考えることが大切です。そして、自分がされて嫌なことはするべきではありません。

いじめを見たら、注意したり、親や先生たちに伝えたりしてほしいと思います。いじめのない、やさしい人がたくさんいる学校にできるかどうかは、みんなの心次第です。一人一人の力が必要です。みんなで力を合わせて、いじめのない、楽しい強戸小にしていきたいと思います。

◎1月の行事予定

日	曜	朝行事	校内行事等
1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		仕事始め
7	火		始業式 11:40下校 発育測定4・5・6年
8	水	学習(集金)	集金日 給食開始 発育測定1・2・3年
9	木	学習	
10	金	たてわり	
11	土		
12	日		
13	月		成人の日 小学校金管バンド発表会
14	火	運動	生活リズムチェック(～19日)
15	水	読書	
16	木	清潔検査	授業参観・懇談会6年
17	金	児童集会	授業参観・懇談会5年
18	土		
19	日		
20	月		クラブ⑥(見学)
21	火	学習	学力テスト
22	水	読書	
23	木	運動	授業参観・懇談会4年
24	金	学習	授業参観・懇談会3年
25	土		
26	日		
27	月		クラブ⑦
28	火	運動	
29	水	読書	
30	木	学習	授業参観・懇談会2年
31	金	学習	授業参観・懇談会1年